

一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和4年12月5日
発行者：袋井市企画政策課

森町袋井インター通り線 整備促進へ大きく一歩前進

至 森掛川 IC

至 袋井 IC



県と市町が「整備方針覚書」締結

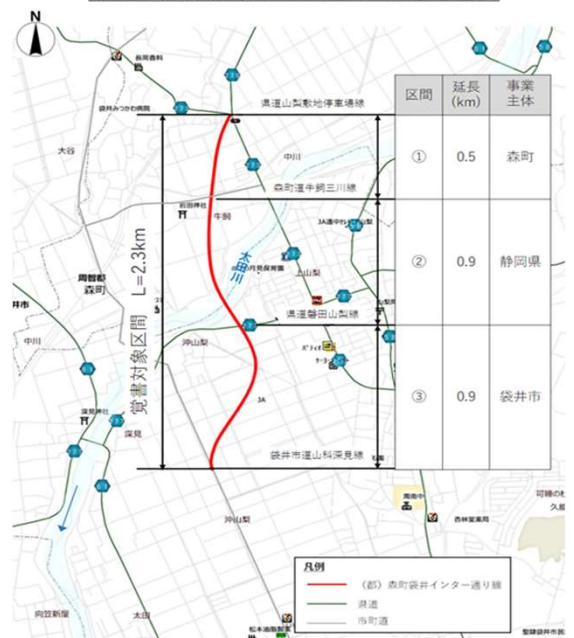
2022.11.17 静岡新聞(朝刊)

森町袋井インター通り線 整備方針覚書 締結
県と市町

森町袋井インター通り線は、行政界をまたぐ2・3キロ区間。太田川を通過し、橋の架設など事業の進め方が課題だった。同区間を3分割し、それぞれ事業主体となり整備を進める。締結式には大場規之市長と太田康雄町長、県袋井土木事務所の酒井浩行所長らが出席。大場市長は「地域経済の活性化と私たちの安心を守る上で大きな意味を持つ」とあいさつし、太田町長は「(覚書締結)大きな一歩。事業が順調に進むことを願っている」と期待を寄せた。

覚書を締結した大場市長(左)と太田町長(右)と酒井所長＝袋井市役所

都市計画道路森町袋井インター通り線覚書概要図



中東遠地域の未来を拓く

「森町袋井インター通り線」の整備促進について

森町袋井インター通り線とは

【概要】

本路線は、新東名森掛川ICと東名袋井IC及び国道1号バイパス、さらには国道150号を結び、主要な東西交通との連携により、中東遠地域の要となる南北軸として位置づけられる広域幹線道路である。

【本路線を取り巻く環境】

既設の道路は、既存集落地を通過しており、生活道路と産業道路の混在化の解消、通学路の安全性確保、また緊急輸送路としての機能確保など、様々な課題を抱えている。

本路線沿線は、東名、新東名高速道路、また国道1号バイパスなどに隣接する好立地条件から、工業地としての需要も高く、今後も新たな土地利用の進展が期待されるなど、持続可能な都市形成にとって、本路線整備の必要性が求められている。



中東遠地域への大きな効果

- ①コンパクト&ネットワークの強化による
“市民生活の質”と“企業活動の利便性”の向上
中東遠地域の都市間連携、産業振興、防災力向上
- ②安全・安心なまちの形成
救急医療の迅速化と災害支援の強化
- ③新たな企業誘致と地域産業の活性化
企業誘致と既存企業への支援強化による地域産業の活性化
- ④新たな観光ルート形成
東西・南北交通の連結による富士山静岡空港から浜名湖や中京圏と連動した観光振興の促進

産業振興

既存産業の振興と新たな企業の誘致

観光振興

豊富な観光・歴史資源の活用

防災強化

ダブルネットワークによる強靱化



袋井市「遠州三山」や森町「小国神社」



至 豊橋市・浜松市

国道150号

磐田市福田工業団地



至 御前崎港